



# 東アジア・オーストラリア地域フライウェイ (EAAF) の渡り性水鳥の保護

東アジア・オーストラリア地域フライウェイには 210 種を超える渡り性水鳥が生息しています。それぞれの種は異なる生態を持ち、必要とする餌や生息地も異なります。34 種が IUCN レッドリストの絶滅危惧種（絶滅危惧 IA 類 (CR)、絶滅危惧 IB 類 (EN)、絶滅危惧 II 類 (VU)) に選定されています。

## EAAFP の作業部会と特別委員会

### 9つの特別委員会

- アカハジロ特別委員会
- ハイロペリカン特別委員会
- ハウロクシギ特別委員会
- コウライアイサ特別委員会
- ヘラシギ特別委員会
- アムール川流域特別委員会
- 黄海生物圏特別委員会
- モニタリング特別委員会
- 渡り性水鳥違法狩猟・捕獲・取引特別委員会

### 7つの作業部会

- ガンカモ類作業部会
- 鳥インフルエンザ作業部会
- クロツラヘラサギ作業部会
- CEPA（広報、教育、参加、普及啓発）作業部会
- ツル類作業部会
- 海鳥作業部会
- シギ・チドリ類作業部会



## 東アジア・オーストラリア地域フライウェイが直面する脅威

東アジア・オーストラリア地域フライウェイの渡り性水鳥にとって重要な湿地を保全することが急務です。フライウェイの渡り性水鳥は、生息地の消失と劣化、侵略的外来種、人為的な攪乱、密猟、汚染、気候変動など様々な脅威にさらされています。



生息地の喪失と劣化 ©Choi Chang-Yong



侵略的外来種 ©Zheng Xi



人為的な攪乱 ©Muhammad Iqbal



密猟 ©Ding Li Yong

東アジア・オーストラリア地域フライウェイは支援を必要としています！

東アジア・オーストラリア地域フライウェイは世界に9つあるフライウェイの中で絶滅が危惧される水鳥の種数が最も多いフライウェイです。

34

絶滅危惧種

19

準絶滅危惧種